

Ⅱ 生涯スポーツ

1 生涯スポーツの概要

国民のスポーツ活動に対する関心が高まり、地域社会におけるスポーツ活動が活発となり、いつでも、どこでも、いつまでも、それぞれの体力や年齢、技術、興味・関心・目的に応じて、手軽に楽しく、しかも継続的にスポーツに親しむことができる環境づくりが強く求められている。

このようにスポーツ活動が盛んになってきた背景には、

- ① 国民の生活意識の変化と生活水準が向上したこと。
- ② 健康づくりブームの高まりにより、健康生活のために適度な運動習慣が必要であることが認識されはじめてきたこと。
- ③ 「地域づくり」の視点から、スポーツを通じて新しい地域コミュニティづくりと、地域住民と生涯スポーツ関係機関・団体とが積極的にスポーツ活動を推進してきたことなど、さまざまな要因が考えられる。

今後、こうした現状と背景を十分把握した上で、総合型地域スポーツクラブの組織化の推進、施設の整備、指導者の養成と指導体制の強化、スポーツ活動や行事の内容の充実、体育・スポーツの調査研究機関の業務推進、スポーツに関する情報提供、生涯スポーツ関係団体の育成支援など、総合的な視野に立ったスポーツの推進に繋がる環境整備を一層推進し、「地域の実情に応じたスポーツの推進」を図ることが重要な課題となっている。

2 生涯スポーツ指導体制

県民の多様化するスポーツニーズに応え、個人のスポーツ活動はもとより、広く地域住民の自主的スポーツ活動を積極的に促進し、生活の中に浸透させていくためには、行政組織の充実、各種スポーツ指導者の養成・活用等、指導体制の確立を図り、スポーツに親しむ県民を増やす取り組みが必要である。

(1) 派遣社会教育主事（スポーツ担当） ※過去の取組

市町村の社会体育行政を充実するため、昭和50年度から国の補助を受けて県教育委員会事務局職員のうち、体育・スポーツを専門に担当する社会教育主事（スポーツ担当）を市町村教育委員会に派遣してきたが、平成10年度から国庫補助の廃止に伴い、市町村の状況や他県の状況を見極めながら、年次的に縮減の方向で検討し、平成22年度より廃止となった。

これまでの市町村教育委員会への配置状況は次のとおりである。

- 平成18年度（3市2町1村）南房総市、山武市、旭市、神崎町、鋸南町、印旛村
- 平成19年度（1市2町1村）南房総市、神崎町、鋸南町、印旛村
- 平成20年度（1町1村）本埜村、東庄町
- 平成21年度（1町1村）本埜村、東庄町

(2) 市町村生涯スポーツ主管課・係

地域住民の日常生活における体育・スポーツ活動を促進するためには、市町村の体育・スポーツ行政の機構と生涯スポーツ担当職員を整備充実することが重要な課題となっている。

主管課設置数	市 町 村 教 育 委 員 会	
生涯学習課	17	白井市、酒々井町、富里市、栄町、香取市、多古町、匝瑳市、大網白里市、白子町、長柄町、長南町、長生村、大多喜町、いすみ市、南房総市、富津市、勝浦市
スポーツ振興課	5	流山市、八街市、東金市、山武市、袖ヶ浦市
スポーツ課	2	松戸市、館山市
文化・スポーツ課	3	我孫子市、鎌ヶ谷市、八千代市
教育課	4	東庄町、一宮町、睦沢町、芝山町
体育振興課	2	旭市、君津市
その他	11	習志野市、船橋市（生涯スポーツ課）、浦安市（市民スポーツ課）、四街道市（スポーツ青少年課）、銚子市（社会教育課）、横芝光町（社会文化課）、茂原市（体育課）、鋸南町（B&G海洋センター）、神崎町（社会体育係）、九十九里町（社会教育係）、御宿町（社会教育班）
市 教 育 委 員 会 以 外		
部局	10	千葉市（市民局生活文化スポーツ部スポーツ振興課） 市川市（文化スポーツ部スポーツ課） 佐倉市（健康子ども部生涯スポーツ課） 成田市（シティプロモーション部スポーツ振興課） 鴨川市（建設経済部スポーツ振興課） 木更津市（健康子ども部スポーツ振興課） 印西市（健康子ども部スポーツ振興課） 野田市（自然経済推進部スポーツ推進課） 柏市（地域づくり推進部スポーツ課） 市原市（地方創生部地方創生課）
計	54	

（３）スポーツ推進委員（旧体育指導委員）

スポーツ基本法の施行（H23. 8. 24）に伴い体育指導委員がスポーツ推進委員と名称変更された。

＜スポーツ基本法＞

（スポーツ推進委員）

第三十二条 市町村の教育委員会（特定地方公共団体にあつては、その長）は、当該市町村におけるスポーツの推進に係る体制の整備を図るため、社会的信望があり、スポーツに関する深い関心と理解を有し、及び次項に規定する職務を行うのに必要な熱意と能力を有する者の中から、スポーツ推進委員を委嘱するものとする。

2 スポーツ推進委員は、当該市町村におけるスポーツの推進のため、教育委員会規則（特定地方公共団体にあつては、地方公共団体の規則）の定めるところにより、スポーツの推進のための事業の実施に係る連絡調整並びに住民に対するスポーツの実技の指導その他スポーツに関する指導及び助言を行うものとする。

3 スポーツ推進委員は、非常勤とする。

令和5年度千葉県市町村別・地区別スポーツ推進委員数（令和5年7月1日現在）

番号	市町村名	委員数	番号	市町村名	委員数	番号	市町村名	委員数
1	千葉市	485	20	富里市	13	39	長柄町	10
2	市原市	82	21	栄町	12	40	長南町	12
3	船橋市	189	22	白井市	19	41	睦沢町	15
4	市川市	82	23	香取市	54	42	長生村	13
5	習志野市	53	24	神崎町	12	43	勝浦市	12
6	八千代市	20	25	東庄町	20	44	大多喜町	8
7	浦安市	25	26	多古町	15	45	御宿町	8
8	松戸市	102	27	銚子市	24	46	いすみ市	21
9	柏市	46	28	旭市	30	47	館山市	22
10	野田市	41	29	匝瑳市	18	48	鴨川市	24
11	流山市	20	30	東金市	24	49	鋸南町	12
12	我孫子市	23	31	山武市	25	50	南房総市	34
13	鎌ヶ谷市	32	32	大網白里市	19	51	木更津市	27
14	佐倉市	30	33	九十九里町	15	52	君津市	30
15	成田市	38	34	横芝光町	14	53	富津市	26
16	四街道市	8	35	芝山町	15	54	袖ヶ浦市	20
17	八街市	15	36	茂原市	22			
18	印西市	28	37	一宮町	10			
19	酒々井町	18	38	白子町	13			
							計	2,005

(4) 生涯スポーツ指導者の養成・研修事業

ア 千葉県生涯スポーツ公認指導員等養成講習会

県民の多様化するスポーツ活動のニーズに応えるため、幼児から高齢者までの一般地域住民に指導のできる資質をもった指導者の養成・確保が重要である。このため、昭和55年度から社会体育指導者養成講習会を開催し、一般県民にスポーツの実技指導やスポーツクラブの育成を図れる指導者を養成してきた。

昭和57年度からは、この講習会の内容を一段と充実させ、「県社会体育公認指導員認定要綱」に基づいて指導者を養成し、平成24年度末までに1,454人の公認指導員を認定している。平成4年度から平成20年度までこの講習会を「千葉県スポーツプログラマー等養成講習会」とし、地域におけるスポーツ推進事業担当者や基幹的なスポーツ施設におけるスポーツ相談等の担当者及び地域スポーツ指導者を対象としてスポーツプログラマーを養成し、平成20年度末までに284人のプログラマーを養成した。

令和5年度は、日本スポーツ協会公認資格である「コーチングアシスタント養成講習会」を9月10日（日）に開催する予定である。

イ 生涯スポーツ指導者の研修

千葉県認定スポーツ指導者研修会

千葉県スポーツプログラマー、千葉県生涯スポーツ（社会体育）公認指導員、千葉県スポーツリーダーのそれぞれの認定要綱に基づいて養成した資格取得者を対象に各種情報の提供や生涯スポーツ指導者としての資質の向上を図ることを目的とし、地域のスポーツ活動ならびに地域コミュニティの活性化の原動力となって活躍できる指導者の育成を図ることを目的として実施している。認定及び認定更新の申請手続きを終了し、認定・認定更新が認められた資格者に対して認定証の授与を行う。

令和5年度は、令和6年1月28日（日）に千葉県総合スポーツセンター内スポーツ科学センターで開催する。

ウ 県スポーツ推進委員研究大会

千葉県下のスポーツ推進委員が一堂に会し、当面する生涯スポーツの諸問題について、研究討議し、スポーツ推進委員の資質向上と地域における体育・スポーツ・レクリエーションの振興に寄与する事を目的に、各地区持ち回りで実施している。

令和5年度の事業概要は次のとおりである。

- 期 日 令和6年1月21日（日）
- 場 所 八千代市市民会館
- 対 象 県内各市町村スポーツ推進委員
- 内 容 表彰式、講演、研究協議

エ 体力・運動能力調査講習会

文部科学省の体力・運動能力調査における新体力テスト調査（20歳～64歳対象、65歳～79歳対象）の安全な実施方法や活用の仕方について研修する。

令和5年度の事業概要は次のとおりである。

- 期 日 令和5年5月11日（木）
- 場 所 千葉県総合スポーツセンター(スポーツ科学センター 研修室・アリーナ)
- 対 象 各教育事務所指導主事（保健体育担当）、各市町村生涯スポーツ主管課担当者
各市町村測定員
- 内 容 講義「新体力テストの実施方法及び活用について」

オ スポーツ推進委員視察派遣

スポーツ推進委員連合会（旧千葉県体育指導委員連合会）では、社会体育の活動状況と体育施設等の現状を調査し、今後の本県における社会体育の推進に寄与することを目的として、昭和55年度からスポーツ推進委員等の視察派遣事業を実施している。

県では、この事業に対しての助成を平成11年度まで行ってきた。平成12年度からは、千葉県体育指導委員連合会事業（現スポーツ推進委員連合会事業）として行ってきたが、平成30年度をもって、本事業は終了した。

なお、これまでの視察先と派遣人数は次のとおりである。

年度	視 察 先	県スポ推連派遣人数
1 5	北海道札幌市(生涯スポーツコンベンション2004)	5
1 6	富山県富山市(生涯スポーツコンベンション2005)	3
1 7	熊本県熊本市(生涯スポーツコンベンション2006)	1
1 8	福島県郡山市(生涯スポーツコンベンション2007)	2
1 9	広島県広島市(生涯スポーツコンベンション2008)	2
2 0	東京都新宿区(生涯スポーツコンベンション2009)	4
2 1	埼玉県さいたま市(生涯スポーツ全国会議2010)	7
2 2	神奈川県横浜市(生涯スポーツ・体力づくり全国会議2011)	5
2 3	秋田県秋田市(生涯スポーツ・体力づくり全国会議2012)	4
2 4	宮崎県宮崎市(生涯スポーツ・体力づくり全国会議2013)	3
2 5	山口県山口市(生涯スポーツ・体力づくり全国会議2014)	4
2 6	岩手県盛岡市(生涯スポーツ・体力づくり全国会議2015)	6
2 7	福島県郡山市(生涯スポーツ・体力づくり全国会議2016)	4
2 8	宮城県(生涯スポーツ・体力づくり全国会議2017)	2
2 9	広島県(生涯スポーツ・体力づくり全国会議2018)	2
3 0	徳島県(生涯スポーツ・体力づくり全国会議2019)	2

カ 市町村生涯スポーツ(社会体育)担当者研修会

市町村の生涯スポーツ(社会体育)担当職員等が、生涯スポーツの振興に関する諸問題について研修を深めるとともに、担当者の資質の向上を図る目的で市町村生涯スポーツ(社会体育)担当者研修会を開催する。

- 期 日 令和5年5月16日(火)
- 会 場 千葉県総合スポーツセンター スポーツ科学センター3階第1研修室
- 対 象 各市町村生涯スポーツ(社会体育)主管課担当者
各教育事務所指導主事(保健体育担当)
- 人 数 60名程度
- 内 容 事業説明「令和5年度の生涯スポーツ振興課事業等について」

(5) 千葉県広域スポーツセンター事業

生涯スポーツ活動の環境整備に向けて、地域住民の誰もが参加でき、地域住民が自主的に運営する「総合型地域スポーツクラブ」を育成するため、教育庁体育課スポーツ推進室に「千葉県広域スポーツセンター」を設置し、千葉県体育協会と連携しながら、クラブ設立・育成・定着に向けた各種事業を展開している。

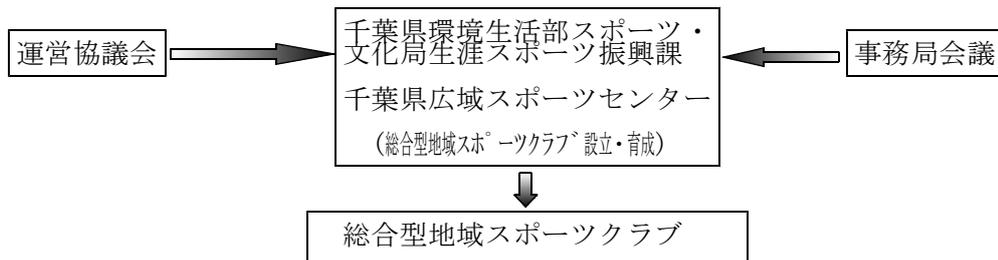
令和5年度の事業概要は次のとおりである。

- ア. 総合型地域スポーツクラブの育成・定着の支援
 - ・育成支援講師等の派遣
 - ・訪問事業
 - ・ミニ集会の開催
 - ・スポーツで元気いっぱい親子体験イベント
 - ・スポネットちば(交流大会)の開催
- イ. スポーツ指導者の養成・活用
 - ・クラブマネジャー養成講習会
 - ・スポーツ指導者の活用・紹介

ウ. スポーツ情報提供

- ・ホームページによる情報提供 ・継続的な実態調査の実施
- ・各種広報活動

運営組織図



(6) 千葉県スポーツ推進審議会

千葉県スポーツ推進審議会は、スポーツ基本法第31条並びに県スポーツ推進審議会条例第1条の規定に基づいて設置し、千葉県体育・スポーツ推進計画を策定するとともに、その進捗状況や本県のスポーツの推進に関する重要事項等について調査審議を行うものである。

本審議会において、令和4年度から令和8年度にわたる5年間を見据えた体育・スポーツの方向性を示す「千葉県体育・スポーツ推進計画」策定に向けて審議し、県教育委員会が令和4年3月に第13次「千葉県体育・スポーツ推進計画」を策定した。

今年度は、第13次「千葉県体育・スポーツ推進計画」の点検・評価等について審議するために、審議会を次のとおり開催する。

<令和5年度>

開催年月日	内 容
令和5年 7月24日(月)	1 第13次「体育・スポーツ推進計画」令和4年度点検・評価(正式版)及び令和5年度進捗管理について 2 令和5年度「県民の運動・スポーツに関するアンケート調査」の実施について 他
令和6年 3月	1 第13次「千葉県体育・スポーツ推進計画」令和5年度点検・評価について 他

(7) 市町村スポーツ推進審議会

スポーツ基本法では、市町村に地方スポーツ計画その他のスポーツの推進に関する重要事項を調査審議させるため、条例で定めるところにより、審議会その他の合議制の機関を置くことができるとされているが、スポーツ推進審議会を設置している市町村は、令和5年4月1日現在、31市町となっている。

市町村におけるスポーツ推進事業を積極的に推進するためにも未設置市町村の設置促進を期待するとともに、スポーツ推進審議会が十分機能できる諮問事項の検討などが求められる。

○市町村におけるスポーツ推進審議会の設置状況

設置されている	31市町
設置されていない	23市町村

○市町村スポーツ推進審議会委員の数と男女比

総 数	296人
男 性	222人 (75%)
女 性	74人 (25%)

3 スポーツ活動

(1) 県生涯スポーツ関係行事

「県民の健康で活力ある暮らし」と「地域の実情に応じたスポーツ振興」、「スポーツに親しむ

県民を増やす」という体育・スポーツ振興の目的の実現を目指して、地域住民の日常スポーツ活動を促進するため、次のような事業を実施している。

- ア 県民体育大会（61ページ参照）
- イ 県民スポーツ教室（77ページ参照）
- ウ 体力・運動能力調査事業

文部科学省が国民の体力・運動能力の現状を把握するため、昭和39年度から勤労青少年を対象に、また、昭和42年度からは壮年層を対象に加えた運動能力調査を実施してきた。

本県でも、昭和39年度からスポーツテストを実施しており、昭和61年度からはスポーツテストの実施のみでなく、広く一般県民の健康・体力づくり意識を高揚する目的で、健康・体力相談・運動処方等についての内容を加え、県内11地区を巡回する「巡回健康・体力相談」事業を実施してきた。平成3年度からは、事業を「勤労青少年・壮年体力テスト事業」に変更し、県内各地域の勤労青少年・壮年の運動能力を調査することにより、県民の健康・体力づくりの充実を図ることとした。平成10年度は、文部科学省の体力・運動能力調査の見直しに伴い、新体力テストの試行を実施した。

令和5年度の新体力テスト項目（20歳～64歳対象：握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、＜急歩・20mシャトルランどちらか選択＞、立ち幅とび）（65歳～79歳対象：握力、上体おこし、長座体前屈、開眼片足立ち、10m障害物歩行、6分間歩行、ADL）による体力・運動能力調査実施市町村は、次の8市町である。

柏市、浦安市、八街市、神崎町、長柄町、いすみ市、市原市、鴨川市

4 社会体育施設

（1）県総合スポーツセンター・県国際総合水泳場（74～81ページ）

（2）市町村社会体育施設

地域住民の日常的なスポーツ活動を促進するためには、まず、身近に利用できる施設の確保が重要であり、社会体育施設の計画的整備・充実と住民に最も身近な学校体育施設の効果的開放の促進が望まれる。市町村においては、社会体育施設の建設を計画的に進めているところも増え、遊休地等を利用した社会体育施設を設置するなど工夫している面も見られるが、十分とは言えない状況である。

そのため、県では国の体育施設整備に対する交付金を積極的に導入し、市町村社会体育施設の整備促進に努めることとしている。

なお、市町村における公共社会体育施設の設置状況は、次のとおりである。

市町村における公共社会体育施設の設置状況（ ）内の数字は面数を表す。R3.9現在

区 分	市町村社会体育施設数		県立施設数		R1年度県立市町村合計
	R1年度	R3年度	R1年度	R3年度	
陸上競技場	24	29	5	5	34
野球場（ソフトを含む）	185 (221)	132 (220)	12 (13)	12 (13)	144 (233)
球技場（サッカー場）	45	37	3	3	40
運動広場	201	141	7	4	145
屋内水泳場	27 (64)	29 (62)	2 (6)	2 (6)	31 (68)
屋外水泳場	45 (128)	45 (128)	3 (13)	3 (13)	48 (141)
庭 球 場	211 (760)	205 (834)	11 (93)	10 (91)	215 (925)
卓 球 場	11	11	0	0	12

柔道場	22	23	0	0	25
剣道場	19	21	0	0	21
柔剣道場	34	35	1	1	36
相撲場	12	12	0	0	12
弓道場	39	39	3	2	41
体育館	159	190	5	4	194
トレーニング場	51	52	3	3	55
ランニングコース	14	12	0	0	12
サイクリングコース	5	6	1	1	7
キャンプ場	17	17	5	3	20
ハイキングコース	1	1	7	7	8
オリエンテーリングコース	0	0	1	0	1
射撃場	1	1	2	2	3
その他	137	262	9	9	146
計	1,260	1,300	80	64	1,364

※社会体育施設調査は2年に1回行っている。

5 学校体育施設の開放

地域住民のスポーツ活動の場を確保するため県立学校の体育施設を開放している。

(1) 県立学校体育施設の開放

昭和47年度から県立学校の開放を進めており、令和元年度現在66校を指定開放した。

令和5年度は、71校が開放指定校となっている。

また、体育施設の開放を推進し、生涯スポーツの更なる発展のため、県立学校体育施設開放実施要綱の一部改正をした。(平成24年4月1日)

なお、昭和59年度から安全な運営・管理を目指し「県立学校体育施設開放事業説明会」(平成13年度までは「県立学校体育施設開放管理者講習会」)を年1回開催している。

ア 県立学校体育施設開放事業説明会

体育施設開放運営委員及び管理指導員の参加を求め、学校体育施設開放についての理解や諸問題について研修を深め、管理者の資質の向上を図り、県立学校体育施設の安全な運営・管理を目指すことを目的としている。令和5年度の事業概要は、次のとおりである。

- (ア) 期 日 令和6年1月10日(水)(次年度説明会)
- (イ) 会 場 千葉県総合スポーツセンター スポーツ科学センター
- (ウ) 参加対象 県立学校教職員
- (エ) 事業概要 説明「県立学校体育施設開放の概要と事務手続き等について」

イ 県立学校体育施設開放指定校一覧（令和5年度）

令和5年度 県立学校体育施設開放指定校一覧

市町村	NO	学校名	開始	市町村	NO	学校名	開始
千葉市	1	千葉東高校	昭59	柏市	37	柏の葉高校	令2
	2	千葉北高校	昭62		38	柏中央高校	平28
	3	生浜高校	平24		39	沼南高校	新規
	4	磯辺高校	平24		40	沼南高柳高校	平3
	5	泉高校	令2		41	柏特別支援学校	平29
	6	幕張総合高校	平26	流山市	42	流山おおたかの森高校	昭58
	7	柏井高校	令4		43	流山南高校	平3
	8	千葉大宮	令3		44	流山北高校	昭62
	9	土気高校	平27		45	特別支援学校流山高等学園	平11
	10	千葉西高校	昭63	野田市	46	清水高校	令元
	11	千葉聾学校	令3		47	関宿高校	平27
	12	桜が丘特別支援学校	昭63	我孫子市	48	我孫子特別支援学校	新規
八千代市	13	八千代高校	昭49	白井市	49	白井高校	平7
船橋市	14	船橋高校	昭63	佐倉市	50	佐倉高校	昭51
	15	菜園台高校	令3		51	佐倉南高校	平6
	16	船橋芝山高校	令元	八街市	52	八街高校	昭55
	17	船橋二和高校	昭56	四街道市	53	四街道高校	昭62
	18	船橋古和釜高校	昭61		54	千葉盲学校	令2
	19	船橋豊富高校	平27	香取市	55	佐原高校	令3
	20	船橋北高校	平6		56	小見川高校	平29
	21	船橋夏見特別支援学校	平28	銚子市	57	銚子高校	平5
22	市川工業高校	昭48	58		銚子商業高校	昭60	
市川市	23	行徳高校	平5	匝瑳市	59	匝瑳高校	平25
	24	市川南高校	新規	山武市	60	成東高校	昭60
	25	特別支援学校市川大野高等学園	平24	九十九里町	61	九十九里高校	令元
	26	浦安高校	昭57	茂原市	62	茂原高校	新規
鎌ヶ谷市	27	鎌ヶ谷高校	昭53	館山市	63	安房高校	平29
	28	鎌ヶ谷西高校	平9		64	館山総合高校	昭47
松戸市	29	松戸南高校	平22	富津市	65	君津商業高校	昭58
	30	松戸向陽高校	平23	君津市	66	君津高校	令3
	31	松戸特別支援学校	平26		67	君津青葉高校	平元
	32	つくし特別支援学校	平27	袖ヶ浦市	68	袖ヶ浦高校	昭59
	33	矢切特別支援学校	平27		69	槇の実特別支援学校	平2
柏市	34	東葛飾高校	平27	市原市	70	市原緑高校	令4
	35	柏南高校	昭57		71	市原八幡高校	平24
	36	柏陵高校	平30				

ウ 令和4年度県立学校体育施設開放実績（県指定校）

(ア) 指定開放校数	68校
(イ) 延べ開放時数	31,066時間
(ウ) 登録団体数	279団体
(エ) 登録者数	14,611人

(オ) 開放施設

施設名	開放校数	開放時間数
体育館	29	8,434
運動場	43	14,041
弓道場	3	1,311
庭球場	7	2,071
武道場	8	2,129
その他	17	3,047
計		31,098

(カ) 開放日別利用時間帯

曜日	早朝	午前	午後	夜間
平日	1	3	5	21
土日曜・休日	6	32	38	8

(キ) 種目別開放時数

No.	種目	時数
1	バレーボール	601
2	バスケットボール	3,995
3	バドミントン	2,003
4	体操	744
5	卓球	961
6	野球	3,799
7	サッカー	8,115
8	ソフトボール	1,236
9	弓道	1,377
10	テニス	2,086
11	柔道	811
12	剣道	1,394
13	その他	3,948
	合計	31,066

6 地域スポーツ推進情報提供

県民のスポーツに対する意識を啓発し関心を高めるために、いつでも、どこでも、だれでも手軽にできるスポーツを普及させ、家庭を基礎とした身体活動の自発的实践を呼びかけることを目的に、次のような各種スポーツ情報提供事業を実施している。

(1) 指導者への啓発

ア スポーツ指導者指導資料第1集～第18集を平成6年度まで作成した。

内容としては、「ニュースポーツハンドブック」「知っておきたい基礎知識・社会体育の企画と運営」「スポーツ活動の事故予防」「スポーツと事故予防・応急処置」「健康づくりの運動プログラム」「健康と体力づくり」「生涯体育と軽スポーツ」「スポーツ行事の企画と運営」等である。

イ 「千葉県公立社会体育施設調査」は、平成19年度より隔年で実施している。

(2) 映画・VTR制作

平成10年度まで地域スポーツ活動の状況や健康・体力づくり及びニュースポーツ紹介に関する

る映画VTR制作を行い、各教育事務所及び各市町村教育委員会に配布し、県民への貸出を行い、地域の体育スポーツ活動の促進を図ってきた。

内容としては「ニュースポーツ紹介シリーズI～V」（ディスクゴルフ、インディアカ、ペタンク、チャレンジ・ザ・ゲーム、ダーツ、グランド・ゴルフ、ラージボール卓球、ウォークラリー、ターゲットバードゴルフ、ローンボウルズ）、「高齢者の健康とスポーツ」「ふれあい・さわやか全国スポレク祭」「女性とスポーツ」等である。

(3) 千葉県スポーツリーダーバンク

文部科学省では、国民のスポーツへの関心の高まりの中で、スポーツの一層の振興とその質的向上を図るために、スポーツリーダーバンク事業の奨励に努めた。

本県においても、平成元年度からこの事業を開始し、指導者の登録、登録指導者名簿の作成及び指導者の紹介、指導者向けの広報誌（ニューズレター）の刊行を行った。

平成22年度よりリーダーバンク新規登録者及び登録指導者名簿の作成を休止した。

スポーツリーダーバンク登録状況（居住市町村別登録指導者数）

R3.5.31現在

No.	市町村名	居住者数	No.	市町村名	居住者数	No.	市町村名	居住者数
1	千葉市	41	20	栄町	1	39	長柄町	1
2	市原市	18	21	印西市	2	40	長南町	0
3	習志野市	4	22	白井市	1	41	睦沢町	0
4	八千代市	9	23	香取市	1	42	長生村	1
5	船橋市	32	24	神崎町	0	43	勝浦市	0
6	市川市	13	25	東庄町	0	44	大多喜町	0
7	浦安市	0	26	多古町	0	45	いすみ市	4
8	松戸市	20	27	銚子市	2	46	御宿町	4
9	柏市	18	28	旭市	3	47	館山市	0
10	野田市	5	29	匝瑳市	1	48	鴨川市	3
11	流山市	8	30	東金市	3	49	鋸南町	0
12	我孫子市	9	31	大網白里市	2	50	南房総市	3
13	鎌ヶ谷市	3	32	九十九里町	0	51	木更津市	0
14	佐倉市	6	33	山武市	4	52	君津市	3
15	成田市	5	34	横芝光町	0	53	富津市	3
16	四街道市	11	35	芝山町	0	54	袖ヶ浦市	9
17	八街市	1	36	茂原市	8	55	県外	3
18	酒々井町	1	37	一宮町	0			
19	富里市	0	38	白子町	9			
						合計		274

7 生涯スポーツの表彰

(1) 生涯スポーツ功労者及び生涯スポーツ優良団体

文部科学省は、地域又は職場におけるスポーツの健全な普及・発展に貢献し、もって地域におけるスポーツの振興に顕著な成果をあげたスポーツ関係者及びスポーツ団体（スポーツクラブ・スポーツクラブ以外の団体）について、文部科学大臣表彰を行っている。

県では、県知事及び県スポーツ協会長、県教育委員会の表彰を受けた者の中から、国の審査及び推薦の基準に従って候補者を推薦している。令和4年度に文部科学大臣表彰を受けた生涯スポーツ功労者及び生涯スポーツ優良団体は、次のとおりである。

年度	生涯スポーツ功労者	推薦母体（市町村）	生涯スポーツ優良団体	推薦母体（市町村）
R4	中村 勉	葛南（船橋市）	大原少年柔道教室	東上総（いすみ市）
	落合 貞夫	北総（佐倉市）	浦安市剣道連盟	東葛飾（浦安市）
	吉見 知子	葛南（習志野市）	柏市スキー連盟	葛南（柏市）

松元 新太郎	県スポーツ協会	袖ヶ浦市総合型地域スポーツクラブ連絡協議会	南房総(袖ヶ浦市)
三浦 英喜	南房総(富津市)		

(2) 県民栄誉賞

昭和63年度から、スポーツ芸術等の分野で特に功績が顕著であったと認められる個人又は団体に県民栄誉賞表彰を行っている。スポーツ分野での受賞者は、次のとおりである。

年 度	氏 名 (所 属)	功 績
昭63	鈴木 大地 (順天堂大学4年)	第24回ソウルオリンピック水泳競技100m背泳 金メダル
平 8	荒井のり子	1996年パラリンピック競技大会 陸上競技 金メダル
平12	高橋 尚子 (積水化学工業)	第27回シドニーオリンピック陸上競技女子マラソン1位
平16	室伏 広治 (ミズノ株式会社)	第28回アテネオリンピック陸上競技男子ハンマー投1位
	富田 洋之 (セントラルスポーツ株式会社)	第28回アテネオリンピック体操競技男子団体 金メダル
	鹿島 丈博 (セントラルスポーツ株式会社)	第28回アテネオリンピック体操競技男子団体 金メダル
	米田 功 (徳洲会体操クラブ)	第28回アテネオリンピック体操競技男子団体 金メダル
	国枝 慎吾	2004年パラリンピック競技大会 男子テニス 金メダル
	齋田 悟司	2004年パラリンピック競技大会 男子テニス 金メダル
平17	千葉ロッテマリーンズ	2005年日本プロ野球セ・パ交流戦、パシフィック・リーグ、日本シリーズ優勝 三冠獲得
平20	峰 幸代 (ルネサンステクノロジー)	第29回北京オリンピックソフトボール 金メダル
平23	宮間あや (岡山湯郷ベル)	FIFA女子ワールドカップ2011ドイツ大会 金メダル
	丸山桂里奈 (ジェフユナイテッド市原・千葉)	FIFA女子ワールドカップ2011ドイツ大会 金メダル
平24	田中 康大	2012ロンドンパラリンピック競技大会水泳男子100m平泳ぎ金メダル
平25	長嶋 茂雄 (読売巨人軍)	プロ野球界への貢献による国民栄誉賞受章
平28	ベイカー 茉秋 (東海大学)	第31回オリンピック競技大会 (リオデジャネイロ) 柔道男子90kg級金メダル
平28	加藤 凌平 (コナミスポーツ)	第31回オリンピック競技大会 (リオデジャネイロ) 体操競技男子団体金メダル
平28	田中 佑典 (コナミスポーツ)	第31回オリンピック競技大会 (リオデジャネイロ) 体操競技男子団体金メダル
令 3	市口 侑果 (ビックカメラ高崎)	第32回オリンピック競技大会 (東京) ソフトボール 金メダル
令 3	ウルフ アロン (了徳寺学園)	第32回オリンピック競技大会 (東京) 柔道男子100kg級金メダル
令 3	近藤 健介 (日本ハムファイターズ)	第32回オリンピック競技大会 (東京) 野球 金メダル
令 3	須崎 優衣 (早稲田大学)	第32回オリンピック競技大会 (東京) レスリング女子50kg級金メダル
令 3	橋本 大輝 (順天堂大学)	第32回オリンピック競技大会 (東京) 体操競技男子個人総合金メダル
令 3	里見 紗李奈 (NTT都市開発)	第16回パラリンピック競技大会 (東京) バドミントン女子金メダル
令 3	鈴木 孝幸 (ゴールドウイン)	第16回パラリンピック競技大会 (東京) 水泳男子100m自由形金メダル

(3) 千葉県知事賞

広く県民の模範として功績の顕著であった個人又は団体を表彰している。スポーツ分野での受賞者は、次のとおりである。

年 度	受 賞 者 (所属)	対 象 競 技 会 等
昭63	佐藤 寿治 (日本大学4年)	第24回オリンピック競技大会(ソウル)体操競技団体 銅メダル
	菊地 総 (東芝)	第24回オリンピック競技大会(ソウル)野球競技デモンストレーション 銀メダル

	小川 博文(プリンスホテル)	第24回オリンピック競技大会(ソウル)野球競技デモンストレーション 銀メダル
	江崎 史子(八千代松陰高校2年)	第24回オリンピック競技大会(ソウル)(デモンストレーション女子柔道)銀メダル
平 元	小島 和恵(川崎製鐵(株)千葉製鐵所)	89パリ国際マラソン 金メダル
平 2	倉原 良一(千葉市役所)	国体水泳競技19回連続出場(うち18回入賞、9回優勝)
	野口 智博(セントラルスポーツ研究所)	第11回アジア競技大会 水泳競技(400m自・800mR 1位)
	関 一人(千葉市立磯辺第一中学校)	第11回アジア競技大会 ヨット競技(ボチミズ級 1位)
平 2	目良 明裕(自衛隊体育学校)	第11回アジア競技大会 ライフル射撃競技(エアピフル団体 1位)
	丸山 茂樹(日本大学3年)	第11回アジア競技大会 ゴルフ競技 個人 1位、団体 1位
平 4	徳永 耕治(日本石油)	第25回オリンピック競技大会(ハルビン)野球競技 銅メダル
	三輪 隆(神戸製鋼)	第25回オリンピック競技大会(ハルビン)野球競技 銅メダル
平 6	国分 利人(ピープル・エグザス津田沼)	第12回アジア競技大会 空手競技組手80Kg級 1位
	宇佐見政勝(東京電力)	第12回アジア競技大会 水泳競技400mR 1位
	長塚 京子(同和鉱業)	第12回アジア競技大会 テニス競技女子ダブルス戦 1位
	松中 信彦(新日鉄君津)	第12回アジア競技大会 野球競技 1位
	中村 哲也(東海大学4年)	第12回アジア競技大会 陸上競技400mR 1位
平 8	松中 信彦(新日鉄君津)	第26回オリンピック競技大会(アトランタ)野球競技 2位
平 9	鈴木 博美(積水化学工業)	第6回世界陸上競技選手権大会女子マラソン 1位
平 1 0	高橋 尚子(積水化学工業)	第13回アジア競技大会陸上競技女子マラソン 1位
	簡 優好(富士通)	第13回アジア競技大会陸上競技 4×400mR 1位
	濱野 広輔(セントラルスポーツ)	第13回アジア競技大会水泳競技400mR 1位
平 1 2	永田 克彦(警視庁第6機動隊)	第27回オリンピック競技大会(シドニー)レスリング・カレクラマノ69Kg級 2位
平 1 3	室伏 広治(ミスノ)	第8回世界陸上競技選手権大会ハンマー投げ 2位
平 1 4	林 忠義(北総乗馬クラブ)	第14回アジア競技大会馬術競技障害飛越団体 1位
	寺地 貴弘(ミスノ)	第14回アジア競技大会テニス競技男子団体 1位
	矢寄 雄大(明治大学)	第14回アジア競技大会柔道競技90Kg級 1位
平 1 5	鹿島 丈博(順天堂大学大学院)	第37回世界体操競技選手権大会 鉄棒、あん馬 1位
	富田 洋之(順天堂大学大学院)	第37回世界体操競技選手権大会 個人総合 3位
	千葉 真子(豊田自動織機)	第9回世界陸上競技選手権大会女子マラソン 3位
平 1 6	森田 智己(日本大学)	第28回オリンピック競技大会(アテネ)水泳競技男子100m背泳ぎ 3位
	関 一人(関東自動車工業(株))	第28回オリンピック競技大会(アテネ)ヨット競技470級 3位
	小林 雅英(千葉ロッテマリーンズ)	第28回オリンピック競技大会(アテネ)野球競技 3位
	清水 直行(千葉ロッテマリーンズ)	第28回オリンピック競技大会(アテネ)野球競技 3位
	石井 広寿(ヤクルトスワローズ)	第28回オリンピック競技大会(アテネ)野球競技 3位
	相川 亮二(横浜ベイスターズ)	第28回オリンピック競技大会(アテネ)野球競技 3位
	小笠原道大(北海道日本ハムファイターズ)	第28回オリンピック競技大会(アテネ)野球競技 3位
	金子 誠(北海道日本ハムファイターズ)	第28回オリンピック競技大会(アテネ)野球競技 3位
平 1 8	澤野 大地(ニッパースポーツ)	第15回アジア競技大会陸上競技男子棒高跳 1位
	鈴木 貴士(セコム)	第15回アジア競技大会ラグビーフットボール競技 1位
平 2 0	坂本 功貴(順天堂大学)	第29回オリンピック競技大会(北京)体操団体 2位
	高平 慎士(富士通)	第29回オリンピック競技大会(北京)陸上4×100mリレー 3位
平 2 1	福見 友子(了徳寺学園)	2009世界柔道選手権大会 女子 48kg級 優勝
	鷹見由紀子(清和大学職員)	第14回世界剣道選手権大会 女子個人戦 優勝

平22	秋本 啓之 (了徳寺学園)	IJF グランドスラム リオデジャネイロ 優勝 世界選手権 優勝
	西田 優香 (了徳寺学園)	IJF グランドスラム モスクワ 優勝 世界選手権 優勝
	伊東 良 (日本体育大学大学院)	第17回 世界相撲選手権 中量級 優勝
	小野 卓志 (了徳寺学園)	第16回 アジア競技大会男子90kg級 優勝
	細田 雄一 (稲毛インターナショナル)	第16回 アジア競技大会 トライアスロン男子 優勝
	藤井 拓郎 (KONAMI)	第16回 アジア競技大会 競泳男子400mトレイルレー 優勝
	原田 欄丸 (自衛隊体育学校)	第16回 アジア競技大会 競泳男子400mトレイルレー 優勝
	宮間 あや (岡山湯郷Belle)	第16回 アジア競技大会 女子サッカー 優勝
	比嘉 祐介 (流通経済大学)	第16回 アジア競技大会 男子サッカー 優勝
	山崎 亮平 (ジュビロ磐田)	第16回 アジア競技大会 男子サッカー 優勝
	工藤 壮人 (柏レイソル)	第16回 アジア競技大会 男子サッカー 優勝
	上場 雄也 (FC東京)	第16回 アジア競技大会 男子バレーボール 優勝
平23	佐藤 愛子 (了徳寺学園)	2011 世界柔道選手権 57kg級 金メダル
平24	加藤 凌平 (順天堂大学)	第30回オリンピック競技大会 (ロンドン) 体操競技男子団体銀メダル
	田中 佑典 (コナミスポーツ)	第30回オリンピック競技大会 (ロンドン) 銀メダル
	平岡 拓晃 (了徳寺学園職員)	第30回オリンピック競技大会 (ロンドン) 柔道男子60kg級銀メダル
	藤井 拓郎 (コナミスポーツ)	第30回オリンピック競技大会 (ロンドン) 競泳男子400mトレイルレー 銀メダル
	三宅 諒 (慶応大学)	第30回オリンピック競技大会 (ロンドン) フェンシング男子フル団体 銀メダル
	峰 幸代 (ルネサエレクトロニクス高崎)	第13回世界女子ソフトボール選手権大会 金メダル
	大久保美紗 (ルネサエレクトロニクス高崎)	第13回世界女子ソフトボール選手権大会 金メダル
	関 友希央 (ルネサエレクトロニクス高崎)	第13回世界女子ソフトボール選手権大会 金メダル
平26	市口 侑果 (ルネサエレクトロニクス高崎)	第14回世界女子ソフトボール選手権大会 金メダル
	ベイカー 菜秋 (東海大学)	2014世界柔道選手権大会 男子団体 優勝
	齊藤 優佑 (徳洲会)	第17回アジア競技大会 体操競技 男子団体総合 優勝
	上田 藍 (シャクリン・グリーンタワー・稲毛インター)	第17回アジア競技大会 トライアスロン 女子個人優勝・混合リレー優勝
	佐藤 優香 (トシバ・トナース・チームケンス)	第17回アジア競技大会 トライアスロン 混合リレー 優勝
	萩澤 正太 (クボタスポーツ)	第17回アジア競技大会 ラグビー 男子7人制 優勝
平27	早坂 尚人 (順天堂大学)	第46回世界体操競技選手権大会 男子団体総合 優勝
	萱 和磨 (順天堂大学)	第46回世界体操競技選手権大会 男子団体総合 優勝
平28	植草 歩 (高栄警備保障株式会社)	第23回世界空手道選手権大会女子組手68kg 超級優勝
平29	須崎 優衣 (安部学院高等学校)	2017年シニア世界レスリング選手権大会女子48kg 級優勝
	志々目 愛 (了徳寺学園)	2017年ブダペスト世界柔道選手権大会女子52kg 級優勝
	ウルフ アロン (東海大学)	2017年ブダペスト世界柔道選手権大会男子100kg 級優勝
平30	松元 克央 (セントラルスポーツ)	第18回アジア競技大会水泳競泳競技フリーリレー金メダル
	菅澤 優衣香 (浦和レッドダイヤモンズレディース)	第18回アジア競技大会 サッカー女子金メダル
	黒木 瑠理華 (ヨネックス (株))	第18回アジア競技大会ソフトテニス女子団体金メダル
	角田 夏実 (了徳寺学園)	第18回アジア競技大会柔道女子52kg 級金メダル
	濱村 ゆかり (株ビックカメラ)	第18回アジア競技大会ソフトボール女子金メダル
	大黒田 裕芽 (NPO法人ARUKAS QUEEN KUMAGAYA)	第18回アジア競技大会ラグビーフットボール女子金メダル
	宇山 芽紅 (テン・フォーティー)	第33回世界トランポリン競技選手権大会 シンクロナイズト競技女子優勝
令和2	鈴木 雄介 (富士通)	第17回世界陸上競技選手権50km競歩 優勝
	横田 葵子 (クラシエホールディングス (株))	第37回世界新体操選手権種目別団体ボール5 優勝

令和3	安藤 美希子 (FAコンサルティング)	第32回オリンピック競技大会 (東京) ウェイトリフティング女子 銅メダル
	稲見 萌寧 (クロス・ビー)	第32回オリンピック競技大会 (東京) ゴルフ女子 銀メダル
	萱 和磨 (セントラルスポーツ)	第32回オリンピック競技大会 (東京) 体操競技男子団体総合 銀メダル
	谷川 航 (セントラルスポーツ)	第32回オリンピック競技大会 (東京) 体操競技男子団体総合 銀メダル
	並木 月海 (自衛隊体育学校)	第32回オリンピック競技大会 (東京) ボクシング女子フライ級 銅メダル
	赤穂 ひまわり (デンソーアイリス)	第32回オリンピック競技大会 (東京) バスケットボール女子 銀メダル
	林 咲希 (エネオス・サンフラワーズ)	第32回オリンピック競技大会 (東京) バスケットボール女子 銀メダル
	宮崎 早織 (エネオス・サンフラワーズ)	第32回オリンピック競技大会 (東京) バスケットボール女子 銀メダル
	宮澤 夕貴 (富士通レッドウェーブ)	第32回オリンピック競技大会 (東京) バスケットボール女子 銀メダル
三好 南穂 (トヨタ自動車アンテロープス)	第32回オリンピック競技大会 (東京) バスケットボール女子 銀メダル	
令和4	佐々木 朗希 (千葉ロッテ)	完全試合達成

※千葉県知事特別賞

平成12年度 小出 義雄 (積水化学工業)

＜オリンピック女子マラソン大会3連続メダル獲得等の指導実績＞

平成14年度 明神 智和 (柏レイソル)

＜2002FIFAワールドカップ大会初の決勝トーナメント進出に貢献＞

平成16年度 加納 實 (順天堂大学)

＜オリンピックアテネ大会男子体操競技監督として団体優勝に貢献＞

荒井 のり子

＜パラリンピック競技大会3大会連続メダル獲得の功績＞

平成17年度 Robert John Valentine (千葉ロッテマリーンズ)

＜千葉ロッテマリーンズ監督として2005年日本プロ野球三冠獲得の指導実績＞

平成20年度 国枝 慎吾

＜パラリンピック競技大会2大会連続メダル獲得の功績＞

齋田 悟司

＜パラリンピック競技大会2大会連続メダル獲得の功績＞

平成22年度 阿部 勇樹 (浦和レッドダイヤモンズ)

＜2010FIFAワールドカップ南アフリカ大会での活躍＞

玉田 圭司 (名古屋グランパスエイト)

＜2010FIFAワールドカップ南アフリカ大会での活躍＞

田中マルクス闘莉王ユウジムルザニ (名古屋グランパスエイト)

＜2010FIFAワールドカップ南アフリカ大会での活躍＞

平成24年度 宮間 あや (岡山湯郷ベル)

＜第30回オリンピック競技大会女子サッカー 銀メダル＞

室伏 広治 (ミスノ株式会社)

＜第30回オリンピック競技大会男子ハンマー投げ 銅メダル＞

国枝 慎吾 (ユニクロ所属)

＜ロンドン2012パラリンピック競技大会車いすテニス男子シングルス金メダル＞

平成28年度 国枝 慎吾

＜リオデジャネイロ2016パラリンピック競技大会車いすテニス男子ダブルス銅メダル＞

齋田 悟司

＜リオデジャネイロ2016パラリンピック競技大会車いすテニス男子ダブルス銅メダル＞

令和2年度 ピーター “ラピース” ラブスカフニ（株式会社クボタ）
 <ラグビーワールドカップ2019 決勝トーナメント進出（ベスト8）>

令和3年度 峰 幸代（トヨタ自動車レッドテリアーズ）
 <第32回オリンピック競技大会ソフトボール女子 金メダル：同競技における
 2回目のメダル獲得>
 国枝 慎吾（ユニクロ所属）
 <第16回パラリンピック競技大会車いすテニス男子シングル 金メダル：同競技
 における5大会連続でのメダル獲得>

（4）文化の日表彰

県では管内各地で功績のあった人を文化の日に表彰している。過去の教育功労、体育・スポーツ分野での受賞者は、次のとおりである。

年 度	氏 名（所属）
昭和63年度	仲 野 昭 造（佐原市体育協会理事）
	佐久間 重（君津木更津支部剣道連盟会長）
平成元年度	近 藤 正 三（県レクリエーション協会副会長）
	橋 本 甲四郎（県スケート連盟会長）
平成4年度	重 村 且（千葉市卓球協会会長）
平成6年度	石 原 輝 雄（県スケート連盟副会長）
平成8年度	葛 城 隆 蔵（元クレ射撃協会会長）
平成9年度	野 村 和（千葉陸上競技協会副会長）

平成10年度	佐 川 幸 男（県体育協会常務理事）
平成12年度	高 橋 重 夫（県バドミントン協会会長）
平成13年度	羽 計 致 昭（千葉陸上競技協会理事）
平成14年度	高見澤 裕（県テニス協会会長）
平成15年度	霜 禮次郎（千葉県ライフル射撃協会）
平成16年度	岡 田 脩（県ソフトテニス連盟名誉会長）
平成18年度	松 井 勝（県スケート連盟理事長）
平成19年度	宮 下 弘 子（千葉県体操協会副会長）
平成22年度	中 谷 勝（千葉県バレーボール協会会長）
平成25年度	梶 原 義 實（千葉県体操協会会長）
平成28年度	畑 山 明（元千葉県サッカー協会副会長）
令和元年度	大 澤 光 彦（(一社)千葉県水泳連盟名誉会長）
令和4年度	生 駒 光 男（(一社)千葉県障がい者スポーツ協会理事）

（5）体育・スポーツ功労者等顕彰

スポーツ基本法第20条及び教育長顕彰規程に基づき、スポーツ振興に寄与することを目的として、スポーツ振興に功績のあった者を顕彰している。昭和37年度から地方体育振興功労者・優秀スポーツ選手（個人・団体）、さらに、同51年度から社会体育優良団体（スポーツクラブ・スポーツクラブ以外の団体）を顕彰している。

なお、平成28年度より、県教育庁体育課の組織改編に伴う担当班の名称変更に伴い、地方体

育振興功労者については、生涯スポーツ功労者と、社会体育優良団体については、生涯スポーツ優良団体と、それぞれ名称変更した。

ア 生涯スポーツ功労者（令和4年度）

管内	NO	氏名	現 役 職
葛南	1	神田 孝一郎	習志野市体操協会会長
	2	萩原 明博	浦安市陸上競技協会会長
	3	押野 忠治	船橋市スポーツ協会副理事長 船橋市バレーボール協会理事長
東葛飾	4	高橋 剛	(公財) 吉田記念テニス研修センター常務理事
	5	渡邊 陽一郎	特定非営利活動法人我孫子市スポーツ協会理事長 あびこレクリエーションクラブ会長
	6	岡安 誠人	野田市サイクリング協会会長
北総	7	山田 行雄	成田市陸上競技各種大会の監督 成田市陸上競技指導者
	8	伊佐 章	千葉県野球協会常任理事 佐倉市野球協会理事長
	9	武藤 功	印旛郡市スポーツ協会顧問 八街市体育協会顧問
東上総	10	長野 正己	山武郡市卓球連盟会長
	11	井上 英樹	パラスポーツ茂原幹事長
	12	松崎 久彦	勝浦市陸上競技協会会長 勝浦市スポーツ協会理事
南房総	13	竹林 一城	南房総市スポーツ協会副会長
	14	小野 恒靖	富津市スポーツ協会常任理事
	15	松本 克彦	市原市スポーツ協会副理事長 市原市陸上競技協会理事長
県ス協	16	谷藤 千香	千葉県スポーツ協会理事
	17	沢田 信	千葉県スポーツ協会評議員 千葉県自転車競技連盟会長
	18	石井 一夫	千葉県柔道連盟会長
千葉市	19	大曾根 逸子	千葉市なぎなた連盟常任理事 千葉市少年なぎなた連盟常任理事
県レク	20	小林 政男	千葉県レクリエーション協会理事 千葉県ボールルームダンス連盟理事
県広SC	21	前田 佳也	千葉県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会副会長

イ 生涯スポーツ優良団体（令和4年度）

管内	NO	団 体 名	代 表 者	設 立 年	構 成
葛南	1	船橋市銃剣道連盟	桑原 直人	昭和33年	3団体 110人
	2	浦安市ラグビーフットボール協会	中村 智	昭和63年	6団体 525人
東葛飾	3	一般社団法人柏市サッカー協会	日下 雅文	昭和45年	125団体 5,050人
	4	流山市野球連盟	小嶋 義男	昭和45年	450人
北総	5	成田市弓道協会	勝田 廣義	昭和29年	113人
	6	前宿ふれあいスポーツクラブ	鈴木 潤一郎	昭和21年	208人
東上総	7	山武郡市バレーボール協会	鹿間 陸郎	昭和31年	20団体 105人
	8	富津市陸上競技協会	藤井 公夫	平成9年	22人
南房総	9	市原市アーチェリー協会	邊見 日出夫	平成4年	80人
	10	一般社団法人千葉県山岳・スポーツライミング協会	岩崎 喜司	昭和25年	14団体 1,152人

県ス協	1 1	千葉県ハンドボール協会	谷田川 元	昭和26年	117団体 2,847人
県レク	1 2	特定非営利活動法人野田レクリエーション協会	須賀田 貞彦	平成8年	5団体 330人
県広SC	1 3	ちばてんだいSV	村松 成司	平成25年	169人

ウ 優秀スポーツ選手（個人、チーム） 全国大会で1位もしくは国際大会に出場した功績
過去9年間の受賞者数

年度	優秀スポーツ選手		特別功労賞（5年連続受賞・10回受賞）
	個人	チーム	
2 3	1 0 1	1 6	梨本真輝、山下明範、林田太郎 渡辺数馬（10回受賞）
2 4	9 3	1 1	森岡紘一朗、伊藤華英、向谷美咲、西田優香 平岡拓晃、福見友子
2 5	9 4	2 0	大利久美、樋口恵夢
2 6	1 1 9	1 9	上田藍（10回受賞）、藤井拓郎
2 7	1 1 9	1 2	稲田法子（10回受賞）
2 8	1 1 8	2 8	平井康翔、菊沢絢、荒谷友碩
2 9	1 1 8	2 4	持田 早智、河崎 羽珠愛、植草 歩 島谷 尚季、佐古 瑞季
3 0	1 3 7	3 4	向谷美咲（10回受賞）、安藤美希子、志々目徹
R 1	1 3 0	2 0	高橋 英輝、皆川 夏穂、横田 葵子
R 2	2 3	2	谷川 航、志々目 愛、角田 夏実
R 3	7 5	7	松元 克央、須崎 優衣、本 一将
R 4	9 8	2 4	松元 克央（10回受賞）

8 パラスポーツの推進

(1) 千葉県障害者スポーツ大会

障害のある人が、この大会に参加することにより、スポーツの楽しさを体験するとともに、その体力の維持・向上、精神面での充足並びに県民の障害のある人への理解を深めることにより、障害のある人の自立と社会参加の推進に寄与することを目的とします。

期 日	競技種目	障害別※	会 場
5/21 (日)	水 泳	(身知)	千葉県国際総合水泳場
5/28 (日)	陸上競技	(身知内)	千葉県総合スポーツセンター陸上競技場
	卓 球	(身知精)	船橋市総合体育館 (船橋アリーナ)
6/3 (土)	サウンドテーブルテニス	(身)(視)	千葉県障害者スポーツ・レクリエーションセンター 体育室・多目的室
6/4 (日)	ボウリング	(知)	VEGAアサヒボウリングセンター
7/9 (日)	フットソフトボール	(知)	千葉県総合スポーツセンター軟式野球場・ソフトボール場
9/15 (金) 9/16 (土)	ソフトボール	(知)	重兵衛スポーツフィールド中台 (中台運動公園)・北羽鳥多目的広場
9/16 (土) 9/17 (日)	ボッチャ	(身)(肢)	千葉市花島公園スポーツ施設 (体育館)
10/5 (木)	フライングディスク	(身知内)	千葉県総合スポーツセンター陸上競技場
10/15 (日)	アーチェリー	(身内)	船橋アーチェリーレンジ
11/12 (日)	サッカー	(知)	市原スポレクパーク
11/26 (日)	バスケットボール	(知)	船橋市運動公園体育館
12/7 (木)	バレーボール	(精)	千葉ポートアリーナ
12/10 (日)	バレーボール	(知身(聴))	浦安市運動公園総合体育館 (バルドラール浦安アリーナ)

※障害別 (身)・・・身体障害者、(知)・・・知的障害者、(内)・・・内部障害者、(精)・・・精神障害者
 [(聴)聴覚障害者、(視)視覚障害者、(肢)肢体障害者]

(2) 手をつなぐスポーツのつどい

このつどいは、知的障害者とその家族、福祉関係者等が一堂に集い、互いに手をつなぎ、スポーツを通じて健康の増進と親睦を図り、併せて社会の人々から多くの声援と理解を得ることを目的とします。

○期 日 令和5年9月28日(木) 雨天の場合は中止とする。

○会 場 千葉県総合スポーツセンター陸上競技場

千葉県稲毛区天台町323番地 (TEL: 043-290-8501)

○対 象 (1) 知的障がい者

(2) 上記の家族及び付き添い者

(3) ボランティア及び福祉関係者

(3) パラスポーツ交流大会「パラスポーツフェスタちば」

パラスポーツの普及や魅力発信、パラスポーツを通じた共生社会の実現を目的に、千葉市等と連携し、平成28年度から「パラスポーツフェスタちば」を開催しています。

障害のある人もない人もパラスポーツを体験し、パラスポーツを通じて交流する機会を創出します。

また、令和4年度から、東葛飾方面でも「パラスポーツフェスタとうかつ」を開催しています。

<パラスポーツフェスタちば開催実績>

年度	開催日	参加人数
H28	9月3日(土)	861人
H29	9月2日(土)	2,994人
H30	9月8日(土)	3,985人
R1	8月31日(土)	10,091人
R2	11月14日(土)	2,528人※
R3	11月23日(火・祝)	3,981人※
R4	9月3日(土)	3,326人※
R5	9月2日(土)	—

<パラスポーツフェスタとうかつ開催実績>

年度	開催日	参加人数
R4	12月10日(土)	597人※
R5	12月2日(土)	—

※新型コロナウイルス感染症の感染対策のため事前申込制として実施

(4) パラスポーツコーディネーター派遣事業

一般社団法人千葉県障がい者スポーツ協会が、障害のある人が県内の全ての地域でスポーツに親しめる環境を拡充するため、市町村等が継続的・主体的に障害者スポーツ大会、体験会、教室等(以下「大会等」という。)に取り組むことができるよう、コーディネーターを派遣し、必要な支援を行います。また、障害者スポーツの普及振興に意欲のある、障害者施設を運営する法人、競技団体等(以下「派遣希望団体」という。)が広域的な障害者スポーツの拠点づくりを目的とした障害者スポーツ体験会や普及啓発イベント等を行う際にコーディネーターを派遣し、必要な支援を行います。

○対 象 市町村及び派遣希望団体

○内 容

- 1 市町村等と地域の大学や学校、障害者スポーツ指導員、競技団体等のコーディネート
- 2 大会等の企画・運営の協力
- 3 大会等に必要競技スタッフの派遣や競技用具の貸出し、パラアスリートの派遣等

4 障害者スポーツの用に供する施設や運営主体の掘り起こし

5 人材育成、人材同士の交流促進

(5) パラスポーツ指導者養成事業

①パラスポーツ指導員研修会

パラスポーツ指導員をはじめ、障害のある人の活動を支える方のスキルアップを目的として開催しています。

○期 日 令和5年5月4日（木・祝）

○会 場 千葉県スポーツ科学センター第1研修室

○対 象 障がい者スポーツ指導員、 パラスポーツ指導に関心のある方（県内在住・在勤者）

○内 容 ユニバーサルスポーツ体験と交流

②初級パラスポーツ指導者養成講習会

公益財団法人パラスポーツ協会公認の初級パラスポーツ指導員向けに開催します。

○期 日 千葉県スポーツ科学センター

○対 象 初級パラスポーツ指導員

○内 容 パラスポーツの推進の取組み、障がいの理解等スポーツ等

(6) パラスポーツ競技団体支援事業

障害者スポーツ競技団体の活性化や競技人口等の増加を図るため、各競技団体等が競技の普及のために実施する体験会等に対して助成を行います。

○補助先 （一社）千葉県障がい者スポーツ協会

○対 象 パラリンピック又は全国障害者スポーツ大会競技種目に係る体験会等

○上限額 1団体 25万円～40万円以内

(7) 国際障害者スポーツ競技大会支援事業

国際スポーツ大会の誘致・開催を進め、本県のスポーツの振興、地域の活性化、本県の魅力発信に資するため、大規模な国際スポーツ競技大会の開催に対する補助制度を創設していきます。

東京2020パラリンピック競技大会の開催を契機として県民のパラスポーツに対する関心が高まる中、国際的なパラスポーツ大会が県内で開催されることで、大会関係者や選手との交流を通じてパラスポーツの認知度向上や共生社会の実現を図ります。

○補助対象事業 県内市町村又は県内市町村が構成員となる団体、国内競技連盟